

## 第三期武蔵野市産業振興計画市民等ワークショップ アンケート結果

## 1 回収率と回答者の属性等

91.7% (回答者数：22 人/24 人)

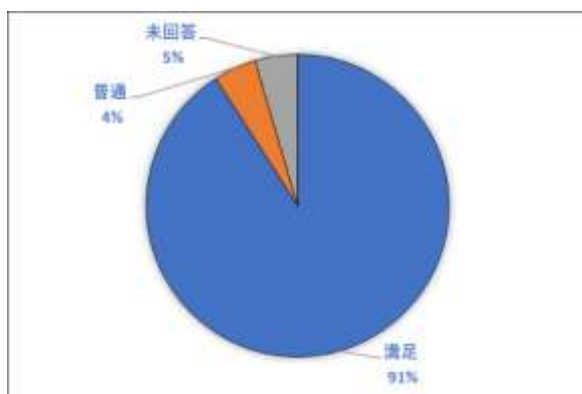
|       |    |
|-------|----|
| 在住    | 7  |
| 在住・在勤 | 5  |
| 在勤    | 4  |
| 在学    | 4  |
| 未回答   | 1  |
| その他   | 1  |
| 計     | 22 |

|     |    |
|-----|----|
| 20代 | 4  |
| 30代 | 2  |
| 40代 | 11 |
| 50代 | 2  |
| 60代 | 3  |
| 計   | 22 |

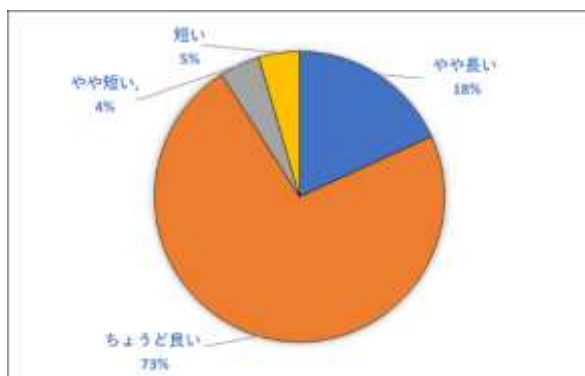


## 2 各設問への回答

①本日のワークショップはいかがでしたか？【選択式】《満足～普通～不満》



②ワークショップの時間はいかがでしたか？【選択式】《長い～ちょうど良い～短い》



③印象に残った、興味のある議論や課題がありましたら記入してください。【自由記述】

- ・ 普段なかなか聞くことのできない意見が聞けたのがとても良かったです。
- ・ 武蔵野市のことをもっと知る、もっと好きになることが大事。
- ・ あまり接してこなかった世代の方と、一つのテーマについて話し合うことができ、とても面白かったです。

- ・対面で話すことで、色々な方向に話が広がっていくのは直接話をしているメリット。
- ・ここまで皆さんが武蔵野市について考えているとは思いませんでした。いい意味で。
- ・学生ももっと積極的に行政に関わりたと思っている事が分かり驚いています。もっと学生と行政を交えたイベントを増やすと良い。
- ・学生向け目線では気づかない、バリアフリーに関する課題について気付くことができました。やはり、「吉祥寺=〇〇」というものを作るべきである。また、「学生×大人」だと気づく視点に異なる点があるため、このような機会をもっと取るべきである。
- ・私自身の話でいうと、テナント料金は課題であると感じるため、SDG s とかを活かしてもう少し、吉祥寺のブランドを上げるなどの施策をするべきである。
- ・インスタでの紹介 学生とお店（商店会）のつながり。
- ・やりたい、お店開きたいを实践できる環境（出店しやすい、安く貸すなど）。
- ・意義のある議論は、武蔵野市は外国人などの外からの集客を目指すか、武蔵野市民がまず楽しんでもらうかという議論になりました。結論としてはもっと市民同士が交流して、子どもたちが自由に参画できる機会を増やしていくことができれば、もっと活性化していくのかと思いました。
- ・市民の意見を話せるワークショップを街ナカでできるような場所が作れたらよい。
- ・人が集まることでアイデアや新しい事業が生まれ、世代間の助け合いが生まれるだろうと思いました。
- ・「観光」というと外に視点が向きがちだが、その前に武蔵野市民から愛される街である必要があるという意見が印象に残った。
- ・SNS 活用、個人のできること、行政ができること、色んな意見が出てよかった。
- ・世代を超えた意見交換の場の必要性。
- ・都内のキラキラした「東京」のイメージとは逆をいくといいと思う。武蔵野らしさをそのまま打ち出していくことが全世界に武蔵野の魅力が伝わると思う。
- ・学生の立場からでは触れることのできない商店会運営のことについて意見を交わすことができ、町おこしについてのイメージが変わった。
- ・知るところから始まり、参加して、多世代交流が始まり企画、実行できると感じました。
- ・まずは街の人たちが、自分たちの街を楽しむ。
- ・子ども、学生のアイデアに大人が集まって、一緒に本気で実現していく
- ・泊まれる場所、スーパー銭湯欲しいですね。

#### ④その他、ご意見・ご感想【自由記述】

- ・定期的にワークショップなどを開催し、市内外に発信すべきだと思いました。
- ・雑談の場は大事ですね。今後ももっと開催してください。
- ・もっと参加者の属性を細分化、多様化しても良いのかと思いました。
- ・貴重な機会により、自分のまちに対する視点が広がりました。
- ・市民の話と行政がつながっていくことがよりよい街づくりにつながっていくのだなと

思った。武蔵野市が大好きなので、「どうよりよくするか」みんなが考え合う（いろんな視点で）場ができたことがよかったです。

- 普段年齢が違う方たちと交流する機会がないので、新鮮な感じでした。これからも市民同士が交流して、それと市と共有することが大切だとこの会に参加して感じる事ができました。
- 共働き子育て世代は参加が難しい時間であった。声をかけた友人からはアンケートで声を拾って欲しい（細やかに）、土日で開催して欲しいなどの意見がありました。
- これからの世の中、1年2年で様変わりする時代に中長期計画はあってもいいが、あまり意味をなさないのではないか。本ワークショップで出た意見の「定期的にこのまちを語り合う会」みたいなのを、市に提言する前提で開催してフレキシブルな計画をしてムサシノモデルを作れば。
- 宿泊施設が少ないことが挙げられていたが、丸一日武蔵野市を満喫できるのかというところではないように感じるため、今後宿泊にも力を入れていくのであれば、新たな魅力をつくっていく必要があると思った。
- 参加出来てとても良かったです。機会があればまた参加させていただきたいです。
- 世代を超えた意見交流の場は定期的に必要なのかなと思いました。
- 「市民の意見を聞く会」の工夫。（今回のようにグループワークする、時間や参加方法など）会場も含めて、市全体がなっていくといいなと思いました。（今回の会場良かったです）
- 様々な世代、バックグラウンドの方々の意見を聞いて新しい気づきがありました。内部だけでなく、外部からの意見、世代を超えた交流の大切を再確認。

**産業振興計画策定に向けた市民等ワークショップ**  
【アンケート】

|            |   |
|------------|---|
| 市との<br>関わり | 1 市内在住（                      ） 2 市内通勤（                      ） |
|            | 3 市内在学（                      ） 4 その他（                      ）  |
|            | ※差し支えなければ、町名または勤務先・大学名をご記入ください。                               |
| 年齢         | 10歳代 ・ 20歳代 ・ 30歳代 ・ 40歳代 ・ 50歳代<br>60歳代 ・ 70歳代 ・ 80歳以上       |
| テーマ        | 1 観光                      ・                      2 商店会        |

① 本日のワークショップはいかがでしたか？  
1 満足 2 やや満足 3 普通 4 やや不満 5 不満

② ワークショップの時間はいかがでしたか？  
1 長い 2 やや長い 3 ちょうど良い 4 やや短い 5 短い

③ ワークショップで印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

④ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。